情報と わくわくが いっぱい!

かわら版

北海道キャンプ協会

2018.4.5 北海道キャンプ協会発行

「キャンプの仲間を広げよう!」

北海道キャンプ協会事務局 安原政志

私と北海道キャンプ協会との出会いは「ジャパンキャンプアクセス'95イン北海道」の時でした。 (この頃、毎年、全国大会として各地のキャンプ指導者が集うイベントがありました。)

その頃、私は、子どもたちを集め、キャンプに連れて行っていました。しかし、その内容は全て自己流です。本を読んだり、人に聞いたりしながらキャンプを計画し、実施していました。ヒヤリハットは何度も…、会場を下見しないで子どもたちを連れて行ったこともありました。

そんな時、キャンプインストラクターの制度があることを知ったのでした。様々なプログラムと出会い、キャンプの幅の広さと奥深さを知ることが出来ました。特に安全管理については、反省ばかり…、夜の懇親会、講師の方々から新たな情報を入手するなど「受講してよかったぁ~」「おみやげたくさんできたぁ~」とふりかえりの時にコメントしたことを思い出します。

そして、この全国大会。スタッフとして加わり何度も会議に参加し、準備を進めました。スタッフの皆様はベテランばかり「何も分からないが一生懸命やれば何とかなる精神」で参加していました。当日、全国からキャンプ指導者が集まり、ファミリーキャンプも並行して行われました。大きな舞切り式の火おこし、大きなフライパンでクッキング、燃え上がる松明に祈りを注ぐアイヌ民族のリーダー、そして、更に印象深かったのはファミリーキャンプでキャンプカウンセラーを務めていた先輩たちのキャンパーへの対応の仕方でした。笑顔一杯に、丁寧に、そして一定の距離をおきながら…、このように接する姿に憧れを感じたのでした。この大会を通して、大きな団体のリーダー、学校の先生、研究者、キャンプのプロ、様々な職種の方々と出会うことができました。また、その活動を続けていく中で、人との出会いの大切さに気づくことができ、かけがえのない私の大きな財産となりました。今でも相談したり、楽しい懇親会があったり、大変お世話になっている皆様です。

年に数回、全国のキャンプ指導者の集いがあります。東京にて日本キャンプ協会が主催する集いの場、東北、北海道ブロック内で各協会が行う周年事業。このような場に参加するとキャンプ仲間の輪が一気に広がります。学びの場があり、懇親会があり、地域の自然、歴史に触れたり…。キャンプ協会のメンバーは全国各地で長年の歴史を背景に地域に根差したキャンプ活動に取り組んでいます。皆様にも是非、更にキャンプを楽しむためにこのような交流の場に参加していただきたいと思います。事務局として機会あるごとに情報を発信します。一緒にキャンプの旅に出かけましょう!



安原政志氏 自然教育促進会代表理 事、北海道キャンプ協会 代表常任理事。



3,11 震災跡地視察(2011.10.)



福島県設立 30 周年祝賀会 (2011. 10.)

幼児から高齢者まで自然あそびの場を提供している。「虫・スキー・お酒」が大好き。最近、 "自然あそびと科学"に興味をひかれ活動中! "人と自然をむすぶ"をテーマに海キャンプ、 山キャンプの在り方を未だ模索している 54 歳。「楽しいキャンプ」をモットーとしている。

指導者養成担当より

キャンプインストラクター養成講習会&

キャンプディレクター2級養成講習会が実施されます!

2018年度の「キャンプインストラクター養成講習会」を会場となる青少年山の家との共催で実施します。 さらに、キャンプインストラクターの上級資格であるキャンプディレクター2級養成講習会を2018年度に 北海道で実施することになりました。

受講要件を満たしているインストラクターの皆さん、この機会にぜひステップアップしましょう!

<キャンプインストラクター養成講習会>

日 程: 平成30年6月1日(金)~3日(日)2泊3日

会 場:札幌市青少年山の家(札幌市南区滝野 247 番地)

主 催:北海道キャンプ協会、札幌市青少年山の家

内容:キャンプの特性、キャンプの生活技術、キャンプの安全等

定 員:20人(最少催行人数5人)※最少催行人数に満たない場合は中止とする場合もあります。

参加費:一般 13,500 円、学生 11,000 円 (テキスト代、宿泊費、食事代含む)

※キャンプインストラクターに登録するためには別途 15,000 円が必要です。

申込締切:平成30年5月18日(金)

<キャンプディレクター2級養成講習会>

日 程: 平成30年10月12日(金)~14日(日)2泊3日

会 場: 札幌市青少年山の家(札幌市南区滝野 247 番地)

内 容:キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセリング、プログラムマネジメント、プログラムの安全管理等

受講要件:キャンプインストラクター資格保有者、インストラクター資格取得後、アウトドア活動

参加経験2回以上、1泊以上のキャンプ指導経験1回以上

参加費:25,000円(テキスト代、宿泊費、食事代含む)

※キャンプディレクター2級登録には別途10,000円が必要です。

申込締切:平成30年9月14日(金)

<u>※講習会実施にあたり、すでに資格をお持ちの方で講習にご協力いただける方を募集しています。有資格者で興</u>味のある方はぜひ北海道キャンプ協会事務局までご連絡ください。



上記講習についての申し込み・お問い合わせ

北海道キャンプ協会事務局 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ヴィレッジ

(特) 自然教育促進会内

E-mail: office@hokkaidocamp.com

TEL 0134 (52) 3240 FAX 0134 (51) 5667

啓発活動・会員交流担当より

役立つ情報がいっぱい!!事業報告

指導者交流会

1. 指導者交流会とは

北海道キャンプ協会の会員資格を持つ指導者は北海道にたくさんいます。その指導者たちは小学校、自然学校、企業などでそのキャンプスキルを生かして活躍しています。この指導者交流会は、 北海道の各地で活躍している指導者たちが集まり、交流を深めることにより、

■仲間を作る

■自分のキャンプスキルにさらに磨きをかける

ことを目的として毎年実施されています。平成29年度は下記のとおりに実施されました。

日時: 2017年11月25日(土)16:00~

場所: 滝野自然学園 (〒005-0862 北海道札幌市南区滝野106)

参加人数:日帰り5名、宿泊4名

2. 活動の様子、成果

まずは室内の活動から始まりました。キャンプファイヤーとは?キャンプファイヤーをする意味とは?などの理論について皆で学び再確認しました。次にキャンプファイヤーの室内演習。様々なキャンプソングやキャンプダンスを楽しく学ぶことができました。とても明るく、自然と笑顔になってしまうほど和気藹々な雰囲気でした。そして野外での本番。ファイヤー!!学んだことをもとにキャンプファイヤーを楽しみました。キャンプファイヤーの後は懇親会。懇親会では、個人の仕事のこと、好きなこと、などなどたくさんの話題で盛り上がりました。この交流会を通して、スキルアップ、情報交換、そして指導者間ネットワークの強化がされました。次年度も開催を検討したいと思います。





文責:中村隆(小樽自然教育促進会)

BUC事業報告

①楽しい大人のデイキャンプ教室

日程:2017年7月9日(日)10:00~14:00

会 場:釧路町別保公園 バーベキューハウス

募集人数: 10名

実際参加人数:会員 7名 未会員 6名 (スタッフ1名 ボランティアスタッフ1名)

事業担当責任者:釧路野外教育研究会 森 健太郎

釧路市武佐 1 丁目 9-30 ライトハウス武佐 102 号室

【事業内容】

去年に引き続き、2年目となるブラッシュアップセミナーは、「食」と「安全」をテーマに実施した。今回も学生の参加が多く、また学生らは研究室等で野外炊事をする機会が多いということで、安全においしく野外炊事をすることができるようなプログラムを企画した。

当日、釧路にはめずらしく8時の気温が25度を超えており、日中はより暑くなる予報があったため、食中毒防止の観点から、予め下処理を行った上で当日を迎える準備をしていた。炊事のメニューは、パエリア、焼き串、ローストビーフ、ホットサンド等であった。①下処理をすることで食中毒のリスクを軽減させられること、②安全に炊事ができるようにクーラーボックスに氷を入れること、③外気温に食品がさらされる時間を短くして、すぐに調理をすること、など食中毒を起こさないようにするためのポイントについて説明を行った。調理中は、終始和やかな雰囲気で行われ、交流を深めることができた。料理はどれもおいしく出来上がり、満足のBUCとなったという参加者が多かった。

【担当者感想】

野外料理をおいしくいただくためには、正しい知識と技術を身に着け、リスクマネジメントを行うことが大切です。私は、そのことを参加者に体験的に伝えることができたように感じました。実際に参加のアンケートにもそのような記述がみられ、「食」と「安全」のテーマに沿ったプログラムを行うことができたのではないかと思います。

今回は、キャンプ協会会員だけでなく、スキルアップをしたいという意欲的な未会員の学生の参加もおり、今年度道東で11月に実施を予定しているキャンプインストラクター養成講習会へとつながる事業にもなりました。









②〆縄作り体験

日程:2017年11月26日日)9:30~13:30

会 場:小樽からまつ公園運営ハウス (小樽市最上 2-3-1)

募集人数: 15名

実際参加人数:会員 8名

事業担当責任者: 二杉 寿志(一般財団法人 おたる自然の村公社)

北海道小樽市天狗山 1 丁目国有林野 4152 林班 (電話:0134-25-1701)

【事業内容】

自己紹介後、講師より、〆縄はそれぞれの地域で、生活と自然と結びつきながら作られて発展してきた物であることなど、北海道ならではのスゲを使用したしめ縄の話を聞きました。

その後、玄関飾りの玉〆から作成し、隣り同士教え合いながら飾りを付けると 90 センチの、とても立派なしめ縄が完成し、参加者みなさんから大きな歓声が上がりました。

縄ないや輪〆はやはり作業が難しく、みなさん夢中に…。気がつくとあっという間に時間が過ぎました。

【受講者の声】

- ・しめ縄の由来など意外と知らないことばかりで大変勉強になりました。楽しかったです。
- ・楽しかったので、またやりたいです。
- ・伝統的な行事である〆飾り作りに参加出来て完成までに悪戦苦闘しましたが、とっても楽しかったです。
- ・貴重な体験が出来、楽しかったです。今授業で江戸エコシステムを題材に取り組んでいるので良い教材にもなりそうです。ありがとうございました。







その他の報告事項

「北海道アウトドアフォーラム 2017」

昨年10月30日-31日の2日間、国立日高青少年自然の家で「北海道アウトドアフォーラム2017」が開催されました。このフォーラムは、「北海道の大自然を活動の場にする、教育・観光・施設等の関係者が一堂に会し、情報交換や交流を行うことで、立場を超えたつながりや新しい価値を生み出し、道内の自然体験活動や野外教育活動のさらなる振興に資する」を目的としており、当協会も後援団体として運営に協力しました。

基調講演では、「北海道における山岳遭難の現状と対策」がテーマに発表されており、ここ数年の山岳遭難の状況から、遭難の要因の紹介など、日本において高い登山者数を誇る北海道だからこそ、知らなければならない現状や情報や満載でした。

また、このフォーラムの特徴でもある、さまざまな自然体権を体験できるワークショップでは、15題ものワークショップが行われ、初めて体験する活動や、もっと学びを深めたい活動などそれぞれのニーズに合わせて、参加する様子が見られました。今年も実施される予定となっているようなので、ぜひご参加下さい!勉強になるだけではなく、ネットワークを広げるとても良い機会になりますよ! 文責:徳田真彦(北翔大学)



最後に 皆さんの熱いエネルギー求む!!

北海道キャンプ協会には、次世代若手指導者団体として「えぞっぷ」という組織があります。えぞっぷでは、さまざまな活動を計画し、北海道におけるキャンプ活動の推進を図っています。若手ならではのエネルギッシュな企画や新たな視点での活動が実施されています!ぜひ皆さんもえぞっぷに入り、一緒に活動しませんか??興味のある方は北海道キャンプ協会事務局までご一報下さい!!

【活動実績】北海道キャンプフェスタ、指導者交流会、日本キャンプミーティングでの発表、活動報告会等

北海道キャンプ協会事務局

〒047-0155 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ヴィレッジ (特)自然教育促進会内

お問合わせ TEL 0134(52)3240 FAX 0134(51)5667

E-mail: office@hokkaidocamp.com URL: http://www.hokkaidocamp.com/index.

担当:安原、岩崎